

## 2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	壁式構造配筋指針改定小委員会		主 査 名：上之藪 隆志 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (壁式構造運営委員会)		委員長名：中島 正愛 主 査 名：勅使川原 正臣
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の「壁構造配筋指針」は 1987 年 11 月に初版を発行し 19 年が経過し、21,700 部が発行され、広く会員に活用されてきたところである。しかし各種改正・改訂などがあり、指針内容を整合させる必要が生じている。本小委員会は、現行「壁構造配筋指針」の名称を「壁式構造配筋指針・同解説」として改定することを目的とする。</li> <li>・2008 年度：「壁式構造配筋指針改定原案」に基づく解説部分・配筋図の検討</li> <li>・2009 年度：「壁式構造配筋指針改定(本文・解説案)」の作成および検討</li> <li>・2010 年度：「壁式構造配筋指針改定(本文・解説案)」の作成</li> <li>・2011 年度：運営委員会・構造本委員会の査読およびコメントの基づく本文・解説の修正ならびに「壁式構造配筋指針・同解説」編集・</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 主査：上之藪 隆志(ベターリビング)、幹事：五十嵐 泉(神奈川大学)、時田 伸二(都市再生機構)、委員：青木 功(エスピーク)、植松 武是(北方建築総合研究所)、梅森 浩(大成建設ハウジング)、岡部 喜裕(力体工房)、加村 隆志(日本工業大学)、隈澤 文俊(芝浦工業大学)、古賀 一八(日東コンクリート技術事務所)、田中 材幸(アールエス)、新妻 尚祐(新妻鋼業)、前田 敏雄(前田建築構造事務所)、松村 晃(神奈川大学)、向井 智久(建築研究所) 以上 15 名		
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本事項検討WG(共通する基本事項部分の指針・解説案を作成する)</li> <li>・壁式RC造配筋検討WG(壁式RC造に関する部分の指針・解説案を作成する)</li> <li>・補強組積造配筋検討WG(補強組積造に関する部分の指針・解説案を作成する)</li> </ul>		
2009 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv. aij. or. jp/kouzou/s5/index. htm">http://news-sv. aij. or. jp/kouzou/s5/index. htm</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 各WGで基本事項、壁式RC造配筋、補強組積造配筋に関する「本文」および「解説」が提案された。 2. 本小委員会で、各WGの検討・成果の整合性の確保・調整を行った。 3. 壁式構造配筋指針改定(本文・解説案)が作成された。
委員会活動の問題点・課題	1. 壁式RC造や補強組積造と各種の構造が対象であるため、各種構造間の配筋の考え方に整合性を保つことが重要である。 2. 各種構造での配筋実状と、学会の各種指針等の規定を考慮した配筋指針を作成する。